

*…LED照明

「暮らしを楽しむには家の照明計画が大事！」といわれる。だが、どうしたらよいのか。間接照明、つり下げるペンダント照明、天



Let's リフォーム
西田恭子

LED照明のダウンライトにしたリビングダイニング・キッチン。つやのある白っぽい天井材がより明るく感じさせる

井埋め込みで真下を照らすダウンライト、照明をいくつも並べたライン照明、スタンド…組み合わせは多様で難しい。使い方によって消費電力も大きく違う。照明をセレクトするポイントが必要だろう。

長寿命、小型で軽量 高齢者に便利

省エネを基軸に考えるとLEDが浮かぶ。「Light Emitting Diode」の頭文字をとったもので、「発光ダイオ

ード」と呼ばれる半導体のことだ。これまでの白熱ランプや蛍光灯ランプ、HIDランプ（高輝度放電灯）と違い、特殊な構造をもつ物質に与えた電気エネルギーが直接光に変わるといふ新しい仕組みの光源である。

ているのだ。同時に取り付けた電球も、切れるタイミングが微妙に違い、だんだん交ざってしまったようだ。シャンデリアの6灯のうち2灯が消えたままだったり、ひどい場合は天井シーリングのカバーを取って

特長は長寿命で、小型で軽量であること。長寿命ということは、電球の交換がほとんど必要ないというわけだ。

しまっている。カバーはつけられないほうが明るく、交換もしやすいのでは？ 放射しているのだ。

（三井のリフォーム 住生活研究所長、1級建築士）

つけるなど工夫が必要だ。部屋の改装時に後回しにされそうな照明計画だが、インテリアとの調和だけでなく、年齢との「相談」も必要になる。

ところで、明るさは内装によっても大きく変わる。クロスを張り替えたなら「明るい部屋になった！」と感じた人は多いはず。黒っぽい色は光を吸収するため暗く感じ、同じ照明器具でも白っぽい色ほど光を反射して明るくなる。部屋をよみがえらせたのは、いつの間にかくすんでいたクロスが新築時の白さに戻ったからなのだ。

高齡の夫婦の住まいを訪ねると、驚くことがある。ダウンライトにクリプトン球、レフ球、電球型蛍光灯などさまざまな電球がつい

り使用頻度の多い個所に